

# SHONAN MAIL

2025.FEB/VOL.210



医療法人徳洲会  
湘南鎌倉総合病院

〒247-8533  
神奈川県鎌倉市岡本 1370 番 1  
TEL: 0467-46-1717 (代)  
FAX: 0467-45-0190



SHONAN MAIL 2025年1月24日 発刊 広報室

今月の表紙

人物 呼吸器外科 深井 隆太・放射線腫瘍科 皆川 由美子・呼吸器内科 福井 朋也

色 抹茶色(まっちゃいろ) カラーコード:#9ab656

上質な緑色は存在感のある高貴な輝きを放っています。粋な色が今も昔も人々の心を癒してきました。



# Respiratory Center 呼吸器センター

湘南鎌倉総合病院呼吸器センターでは、肺がんや気胸、膿胸、間質性肺疾患、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、喘息など、呼吸器に関わる幅広い疾患の診療を行っています。



## 外科 呼吸器外科部門



センター長  
呼吸器外科 部長

深井 隆太

RYUTA FUKAI

## 呼吸器外科診療

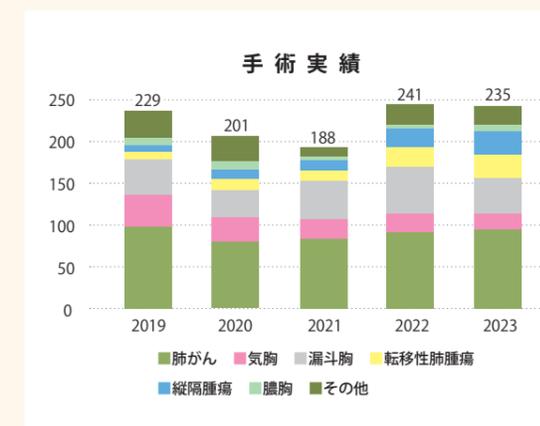
常勤3名、非常勤2名で、手術（水・金）と外来診療（月・火・木）を行っています。毎週金曜日には呼吸器内科、放射線腫瘍科、IVRセンター、病理診断科など、呼吸器診療に携わる多職種の医師とともに、検査や治療について検討を重ねています。また、毎週月曜日にはリハビリテーション科とカンファレンスを行い、患者さんの身体活動性やリハビリ状況を確認し、必要に応じて相談をしています。その中で、手術を予定している患者さんには、術前外来で6分間歩行や階段昇降テストを実施し、手術の安全性や術後の体調維持について検討しています。手術は早期肺がんを治療するための有効な手段ですが、一定の体力的負担を伴うため、特に高齢の患者さんにおいては、術後の体調やQOL<sup>\*</sup>を重視した治療選択を心がけています。

※QOL(Quality of Life)とは「生活の質」を意味し、健康や幸福、満足感などを含む、人生の充実度を表します。

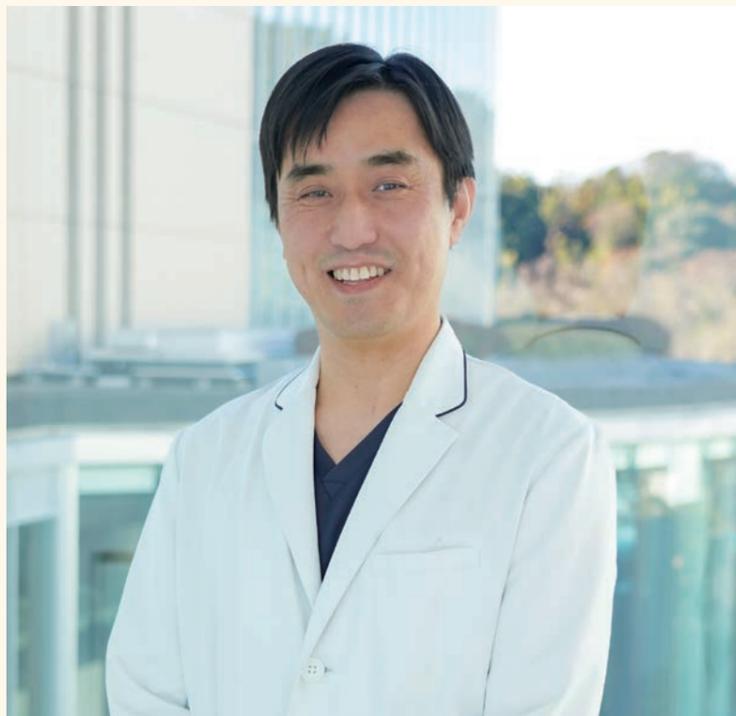


## da Vinci

2019年よりダヴィンチ（手術支援ロボット）を導入し、2024年12月までに183件のロボット手術（肺がん106件、縦隔腫瘍77件）を実施しました。私はロボット支援下手術のプロクター（指導医）として手術を担当しています。ロボット手術は胸腔鏡（直線的な道具）に比べて道具の自由度が高く（関節があり、曲げたり、回転させたりすることも可能）、狭い場所でも道具の先端を正確に誘導することができます。また、鉗子が長いので、胸腔内のどの部位にも容易に到達でき、胸の上部や横隔膜近くの剥離も胸腔鏡より安全かつ容易に行うことが可能です。さらに、拡大された高解像度画像によって剥離すべき組織をしっかりと確認できるため、手技に慣れると癒着や組織の剥離にも非常に有効です。今後も技術をさらに習熟させ、質の高い手術を提供できるよう努めてまいります。



## 内科 呼吸器腫瘍部門



副センター長  
呼吸器内科 主任部長

福井 朋也

TOMOYA FUKUI

## 内科 呼吸器内科部門



呼吸器内科 部長

野間 聖

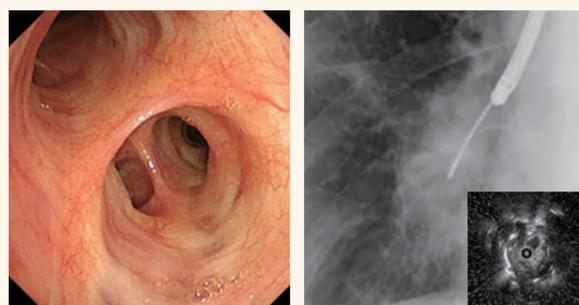
SATOSHI NOMA

## 肺がん診療の最前線

肺がんは、早期には症状が現れにくく、進行してから発見されることも多い難治性の疾患です。当院では、診断から治療までを一貫して行う体制を整え、地域のがん診療を支える拠点病院としての役割を担っています。

患者さんが受診された際には、画像検査や組織診断を迅速に行い、臓器機能や合併症の評価を含め、治療にスムーズに移行できるよう努めています。また、内科、外科、放射線科、病理診断部が密接に連携し、患者さん一人ひとりに最適な治療方針を慎重に議論して決定しています。

呼吸器腫瘍部門では、主にがん薬物療法を担当し、最新の医学的知見をもとに効果や安全性を考慮した治療法を提案しています。早期がんには手術や放射線治療と併用する集学的治療を、進行がんでは病勢制御を目的とした薬物療法を行い、さらには緩和ケアに至るまで、患者さんに寄り添った医療を提供します。患者さんと共に、包括的な肺がん診療を通じて、最善の治療を届けることを目指しています。



気管支鏡検査(右は肺がんの生検)の画像

## 呼吸器疾患に寄り添う医療

私は呼吸器内科全般を幅広く診療し、呼吸器系のあらゆる症状や疾患に対応しています。特に、間質性肺炎、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、喘息などの呼吸器良性疾病を得意としており、これまで多くの患者さんの診療を行ってきました。また、肺がんをはじめとする胸部悪性疾患の診療経験も豊富で、間質性肺疾患を合併した肺がんなど、複雑な病態にも対応可能です。

診断、治療、予防の各段階で幅広くサポートし、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供できるよう努めています。さらに、診療だけでなく、講演や学会を通じて最新の医学情報や治療法を常にアップデートし、日々の診療に反映させることで、より良い医療を目指しています。

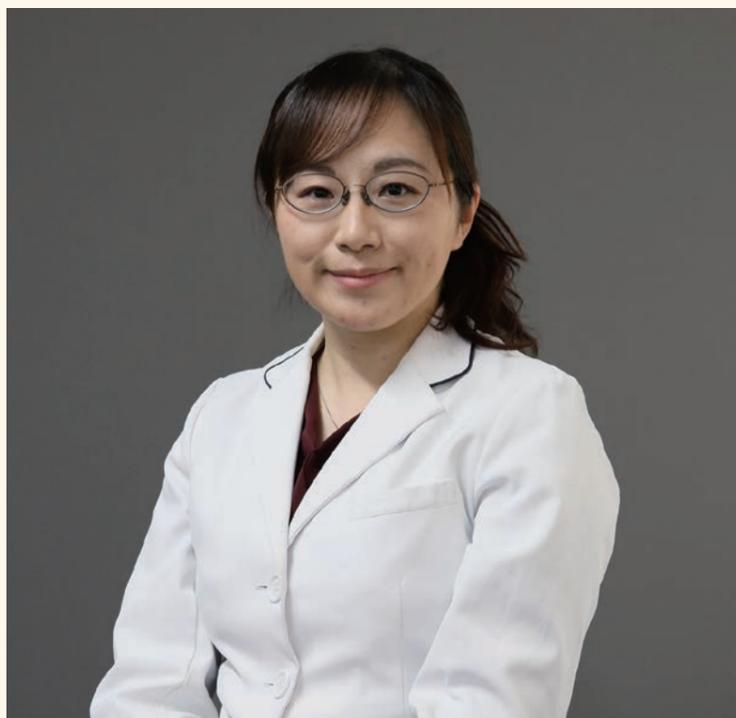
呼吸器の症状や疾患について気になることがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



間質性肺炎のCT画像

放射線

## 放射線腫瘍部門



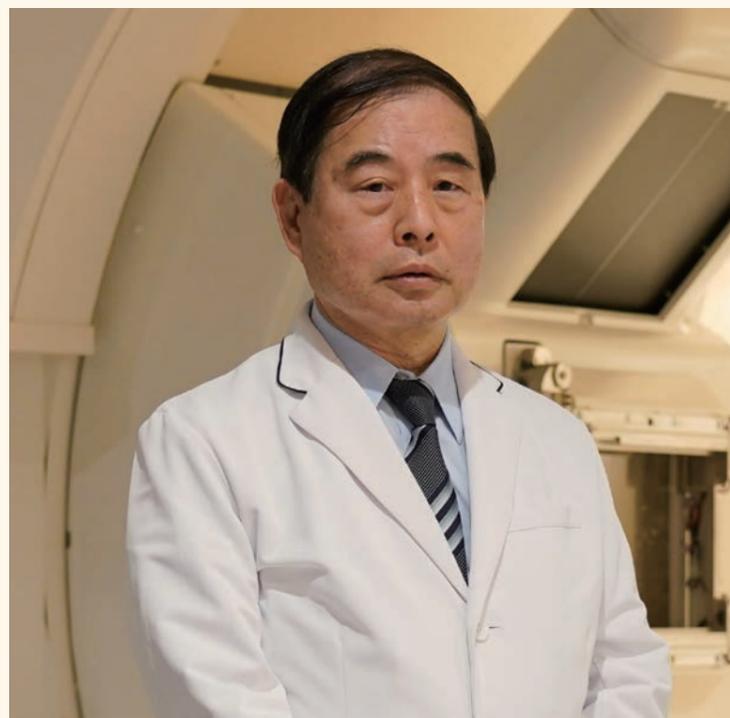
放射線腫瘍科 部長

皆川 由美子

YUMIKO MINAGAWA

放射線

## 放射線腫瘍部門



放射線腫瘍科  
陽子線治療部長

徳植 公一

KOICHI TOKUUE

## 日常を変えない放射線治療

がんの治療には手術、抗がん剤と並んで放射線治療があります。放射線治療は身体への侵襲が少ないので、今までの生活を変えずに通院で治療が完了することが大きなメリットです。当院には X 線治療装置と陽子線治療装置があるので、肺がんの種類や広がりによって、より適切な放射線をおすすめしております。X 線治療装置はトモセラピーといい、強度変調放射線治療 (IMRT) と画像誘導放射線治療 (IGRT) の 2 つの技術を組み合わせた装置となります。これにより、腫瘍に放射線を集中し、周囲にある正常な組織をできるだけ守りながら治療を行うことが可能です。はじめての放射線治療で緊張すると思いますが、治療装置を正確に操作する技師、高精度放射線治療の計画や品質の担保を行う医学物理士、患者さんの状態を確認したりケアを行う看護師、情報を整理して速やかな診療を促すメディカルクラークと共に、安心して放射線治療を受けていただけるように心がけています。



TomoTherapy(Radixact®)

## 肺がんの陽子線治療

放射線治療は、肺がんに対する有効な局所療法の一つです。早期肺がんに対しては、放射線治療単独を適用し、局所進行がんでは化学療法と併用した化学放射線療法が行われます。当院の特徴は陽子線治療が可能である点です。陽子線治療は通常の放射線治療 (X 線) と同等な効果を持ちながら、「ブラッグピーク」という特性により腫瘍への照射を限定的に行える点が特徴です。国内での全例登録データによると、早期肺がんに対する治療では X 線治療に比べて生存期間の延長が認められ、この結果、早期肺がんにおいて保険適用が認められました。局所進行がんでは症例数の蓄積により良好な成績が期待されており、先進医療として化学療法と組み合わせた化学陽子線治療が実施されています。



陽子線治療装置

## 診断 病理診断部



病理診断部 部長

野口 雅之

MASAYUKI NOGUCHI

## 適切な病理診断で 適切な治療へ

呼吸器センターはもとより、湘南鎌倉総合病院の病理最終診断を担っているのが病理診断部です。ご存知のように他の臓器と同様、呼吸器腫瘍においても悪性腫瘍の最終診断は病理診断部で行われます。特に呼吸器では他の臓器より病理組織診断を最終診断とする傾向が強い領域です。最終診断にはなりません、細胞診断も我々病理診断部で行っています。悪性の診断のもとに遺伝子診断へと進み、患者さんへの治療方針が決定されます。我々病理医は患者さんと直接接する機会はほとんどありませんが、患者さんの治療に極めて重要な情報を臨床医に提供していることとなります。適切な診断を迅速に伝え、患者さんに最も適した治療を行ってもらうため、病理診断部は呼吸器外科医、呼吸器内科医、放射線治療医と密な協力体制を構築しています。



切除された肺がん組織から作製された標本

## 診断 インターベンション



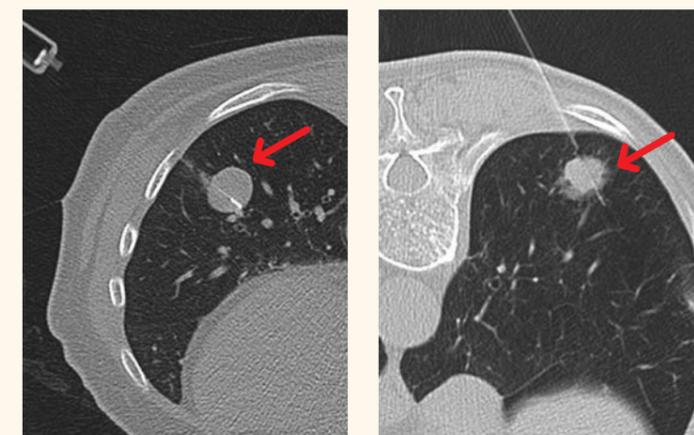
IVRセンター 部長

築山 俊毅

TOSHITAKA TSUKIYAMA

## 肺がん診療における CTガイド下肺生検の役割

IVRセンターの業務は多岐にわたりますが、肺がん診療において重要な業務の一つにCTガイド下肺生検があります。CTを用いて病変を正確にとらえるだけでなく、出血などの合併症の低減に努めています。微に入り細を穿った病理診断により悪性病変の診断率は95%以上を維持しており、遺伝子変異の解析を併用することにより分子標的薬の適応にも寄与しています。



いずれも生検針が病変を正確にとらえている

# 内科 × 外科

Q 呼吸器センターとはどんなセンターですか？

深井 いろんな科が協力して、患者さんの診断や治療にあたる機関ですね。一人の患者さんに対して多職種が話し合っって治療方針を決めるのが特徴です。

皆川 内科と外科だけで構成されるセンターは多いですが、うちのように放射線腫瘍科や病理部も加わっているのは珍しいですね。

深井 本間にそう。患者さんが内科に来たら内科だけ、外科に来たら外科だけで対応する病院も多いですが、当センターでは「この方には手術がいいのか」「放射線のほうが合っているのか」など、最初から全体で相談しながら治療を進められるんです。色んな選択肢を最初から考えて相談できる場所って実はあまりないと思います。そこが大きな特徴かもしれないです。

福井 毎週1回スタッフ全員が集まって呼吸器カンファレンスを行っています。各部門から専門的な意見を出し合っって、方針が明確になりますね。

Q カンファレンスではどんなことを話し合っていますか？

深井 症例ごとに治療方針を話し合っています。薬物療法、放射線治療、手術、それぞれの選択肢を多角的に検討しています。難しい症例が結構あるので、そういう時に本当にどうするのっていうのは病理の所見でトータル的にその場でプレゼンしていただけるので、そのあとの治療をどうするか相談しやすいですよ。専門の先生のお話を聞くと「あ、じゃあこうしたらいいね」となりますね。

Q 呼吸器センターの先生方ってみなさん優しい雰囲気だと思います。それも相談しやすい要因ではないでしょうか？

深井 それはすごいあるね。あるある。

福井 深井先生が仰るように、意見が聞ける場があるというのがまず大事なのと、間質性肺炎もそうですけどあらゆる疾患が複雑になってきているので、自分一人では判断できないことも多くなっています。複雑で一人では決められないからこそ、日々変わっていく情報を常にキャッチアップできる専門的な知識を持ち合わせたメンバーで集まって意見を交わせるというのは心強いです。

深井 呼吸器に関する幅広い疾患を合理的に色んな方面から議論できます。あそこまで多くの専門医が一堂に会する場っていうのはなかなかないですからね。



皆川

放射線腫瘍科は他科の先生から依頼を受けて治療を行うので、他科との距離が近くて気軽に相談できることが大事です。忙しい中でも時間を作っていただけなので、本当にありがたいですね。

Q 今回、集合写真(P.2-3)を撮らせていただきましたが、急だったのに多くの先生にお集まりいただいたので、団結力を感じました！

一同 団結力(笑)！

深井

なんていうんでしょうね。本音で患者さんにとってどういう状況が一番いいかってことでみんな多分一致して議論ができるから、それは本当にいいですよ。

Q 専門の先生が議論してくれてるっていうのは患者さんもう嬉しいことだと思います。

深井

患者さんにとってはメリットが大きいです。自分だけじゃわからないこともあるので他科の先生の意見から「じゃあこれはやめておこう」とか「こっちにしよう」とか治療方針を変えることもありますからね。

皆川

放射線治療医にとって、勉強にもなります。手術した症例については、術前の画像と実際の病理を比べて見せてもらえるので、「この腫瘍は転移だったんだ」とか「ここまで腫瘍が浸潤していたんだ」という真実がわかるんですね。放射線治療では画像で見える限界を考慮して広めに照射しますが、手術と違っってこういう答え合わせが難しいんです。だから、カンファレンスに参加することが今後の治療に活かせるので、若手の先生にも是非参加するように言っています。

Q 最後に患者さんにメッセージをお願いします。

深井

一人の患者さんに対して様々な専門の医師が議論して治療方針を決めるのは、当センターの大きな特徴です。安心してご相談ください！

福井

患者さんに信頼していただける体制をこれからも整えながら最善な医療を考え、実践してまいります！

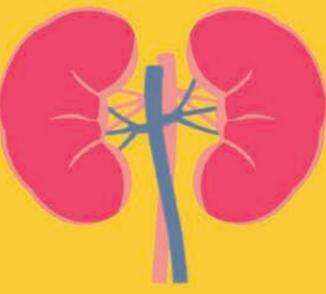
皆川

私たちはチームとして全力で治療にあたります。患者さんに「ここに来て良かった」と思っていただけのように頑張ります！



**医療講演**  
「リハビリで変える腎臓病の未来」  
湘南鎌倉総合病院  
腎臓病総合医療センター 部長 持田 泰寛







**World Kidney Day**  
13 MARCH 2025

毎年3月の第2木曜日は「世界腎臓デー」

世界腎臓デーは、国際腎臓学会と腎臓財団国際協会が共同で提案し、2006年に始まった国際的な記念日です。日頃から腎臓の大切さを意識してほしい！と願い世界中でさまざまなイベントが行われています。

# 第6回 世界腎臓デー

## in 鎌倉

### 楽しくリハビリ！ 守ろう腎臓！

**参加無料  
申込不要**

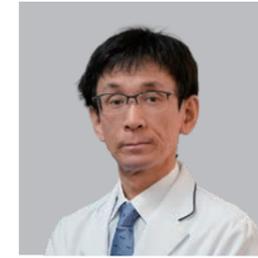
**日時**  
2025年 3月 6日 (木)  
13:00 開演

**会場**  
鎌倉芸術館小ホール  
JR大船駅より徒歩約10分

**リハビリ体験会**  
「座ってできる！」  
「腎臓と体を笑顔に！運動療法初級編」  
参加型ワークショップも開催！

/// 新入職ドクターのご紹介 ///

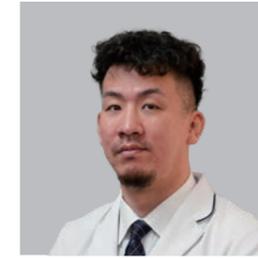
新しく4名の医師が当院に入職いたしました。



外科  
ロボット手術センター長  
上部消化管外科部長

**細田 桂**

胃がん・食道がんに対する外科治療をメインに診療して参ります。よろしくお願いたします。



救急総合外科  
医員

**岡田 泰樹**

精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。



腎臓病総合医療センター  
部長

**真栄里 恭子**

地域に寄り添い貢献して参りたいと思います。よろしくお願いたします。



糖尿病内分泌内科  
部長

**若杉 理美**

糖尿病と内分泌疾患の診療を行っております。よろしくお願いたします。

SPOT THE DIFFERENCE

全部で5つまちがいがあるよ！



まちがいさがしの答えは病院ホームページで公開中！

SHONAN MAIL

